

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
SOU FIRST 牧港（放課後等デイサービス）		R7年 5月 14日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	スペースは適切だと感じる。	定員を超えないよう対策をしている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	児童の利用希望表をとりそれに合わせてスタッフのシフト（基本の人員配置）を組んでいる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	生活空間としては、子どもたちにとっては過ごしやすい環境にはなっていると思う。掲示物は平仮名や読み仮名対応をしている。また、絵も多く活用されている。	該当児童は利用無しだが、完全バリアフリー化では無いため今後対応が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	清掃消毒を毎日徹底しており、清潔に保たれている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別対応が必要になったタイミングで部屋を分けて使用したり等、工夫している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的に話し合いの場を設け、フィードバックを行う場もある。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向けにアンケートを実施し、その解答を基に業務改善に繋げている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的に業務改善のための話し合いを設けている。	話し合う機会はあるが、十分に取れないことがあるので計画的に行う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者評価は行っていないが、内部監査を年2回のペースで実施予定。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	新入社員向けの研修やフォローアップ研修、既存社員向けの研修など積極的に開催されている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	今後も改善しながらより良いものを提供できるよう対応していく。支援プログラムはHPで公開している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	定期的に保護者や関係機関との情報共有の機会を設けており、社員の意見も取り入れつつ作成されている。日々保護者と、共有と連携を図ることで、課題の把握に努めている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	社員からもヒヤリングしてくれる機会もあり、社員の児童報告も管理者が目を通してきているため、十分に機能していると感じる。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	HUGにてモニタリングや支援計画書が見れるため確認しやすい状況である。	状況に応じて支援会議の回数を積極的に増やすことも検討。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	社内チャットを用いて職員間で情報共有を行っている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	管理者を中心にリーダーと連携しながら現場でも意識している。 具体的な支援内容が設定されていると感じる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	日々の課題計画は職員間で共有しながら立案している。 毎月、活動プログラムの会議を行いながらチーム全体で対応している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	児童が飽きが来ないように、また児童が意欲的に取り固める内容を常に模索している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動と集団活動を組み合わせたプログラム提供し、支援を行っている。 状況によっては、個室に移動し個別で対応することもあり。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼の中で各々のスタッフの役割分担を行い連携を取りやすい環境を作っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	プログラム担当のスタッフが他スタッフへ助言を貰ったり自分自身で振り返りながら、チャットワークにて共有できる場を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の様子を記録し、スタッフ間で共有することで支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児発管を中心に保護者と照らし合わせて行っている。 定期的にモニタリング会議を設けて、保護者様の意向やこどもの様子を共有し状況に応じて支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0	活動を設けて自立支援につなげ、余暇時間の提供。 また、定期的に地域の美化活動や工作などを活動として取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	児童に対する声掛けなど工夫して行い、選択の機会を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	必要に応じて、児発管＋スタッフが同席や併用先の放課後等デイサービスや学童のスタッフを招いたりするなど、積極的に多角的な意見を取り入れている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校へ児童お迎えの際に、支援の内容の共有や連携等を支援担任や学級担任と図ってる。	医療関係との連携は体制までは整える事はできていないので、必要に応じて今後連携を図っていく事が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も現状維持にて対応していく。学校とも送迎の際や電話等で連携を図っている。 学校（スクリレ）や保護者様から報告を共有。イレギュラーな下校時間にも対応できる体制。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	児童によっては、移行会議を設け、事前に情報を共有。 相談支援事業所等を通じて、児童の様子を共有。	同グループ会社の児童発達支援事業所との情報共有はしていますが、幼稚園やこども園との情報共有が出来ていないので、必要に応じて後は連携体制を整えることが必要。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	現状適切に行えている。今後も現状維持にて対応していく。放デイ卒業後も状況に応じて相談窓口を設置。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	地域の連絡会や児発管連絡会参加。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	公園遊びや課外活動の際に、地域の児童と関わる機会を設けている。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	現状適切に行えている。今後も現状維持にて対応。協議会を通じて加算や活動の内容について共有。	必要に応じて参加。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	日々保護者の方と対話する機会を設けている。その際に、ご自宅でも行える支援の方法や注意点などを共有する場を設けている。	情報提供等の資料は必要に応じて共有。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	支援プログラムは意図月前に周知を行っている。利用者負担に関しては、請求の際に周知を行い、支援プログラム費用としての利用者負担に関しては、前日前には説明をしたうえで活動を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	特に問題なし。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	電話や対話を通じて悩みを聞き、助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	1	ZOOMを活用し保護者会を開催しており、定期的に保護者同士で交流できる場づくりを行っている。	療育の様子の発信の場を設ける事を検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。適切に対応できるよう本社を交えて対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報について十分に留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	会社全体のイベントは定期的に開催。	地域貢献できる行事等が計画出来るよう検討。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	保護者様への周知を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者と情報共有を行い、適切な対応を行っている。事業所で提供する際などは改めて全保護者へアレルギーの有無など確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	

心

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	些細な事も状況に応じて、ヒヤリハットを作成し再発防止のための方針を話し合っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	現状適切に行えている。今後も継続できるように対応。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	契約時に緊急時の身体拘束の説明同意書に基づいて対応。	